

宮城県内の被災状況

東日本大震災による被害等状況(平成25年1月31日現在)

市町村	人口 [国勢調査] (H22.10)	人的被害							住家被害					
		死者			行方不明者 人	重傷 人	軽傷 人	その他 人	全壊 棟	半壊 棟	一部破損 棟	床上浸水 棟	床下浸水 棟	非住家被害 棟
		直接死 人	関連死 人	合計 人										
仙台市	1,045,986	654	245	899	30	276	1,995	0	29,981	109,274	115,746	調査中	調査中	調査中
石巻市	160,826	3,256	234	3,490	451	不明	不明	不明	22,357	11,021	20,364	6,821	10,908	調査中
塩竈市	56,490	30	18	48	0	2	8	0	655	3,188	6,798	2,606	266	2,345
気仙沼市	73,489	1,104	105	1,209	233	不明	不明	不明	8,483	2,570	4,689	不明	不明	9,602
白石市	37,422	0	1	1	0	0	18	0	40	566	2,171	0	0	調査中
名取市	73,134	911	37	948	41	14	194	0	2,801	1,129	10,061	3,403	1,179	2,805
角田市	31,336	0	0	0	0	0	4	0	13	159	1,017	0	0	15
多賀城市	63,060	188	29	217	0	不明	不明	不明	1,746	3,730	6,039	不明	不明	不明
岩沼市	44,187	180	6	186	1	7	286	0	736	1,606	3,086	1,611	114	3,126
登米市	83,969	0	8	8	0	12	40	0	201	1,792	3,360	0	3	823
栗原市	74,932	0	1	1	0	6	544	0	58	372	4,552	0	3	48
東松島市	42,903	1,061	63	1,124	28	62	59	0	5,505	5,560	3,506	調査中	調査中	932
大崎市	135,147	2	4	6	0	79	147	0	596	2,432	9,140	0	0	328
蔵王町	12,882	0	0	0	0	0	0	0	16	155	1,138	0	0	175
七ヶ宿町	1,694	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0
大河原町	23,530	0	2	2	0	0	0	1	10	146	1,333	0	0	117
村田町	11,995	0	0	0	0	0	1	0	9	115	648	0	0	調査中
柴田町	39,341	2	3	5	0	3	1	0	13	189	1,679	0	0	調査中
川崎町	9,978	0	0	0	0	0	0	3	0	14	448	0	0	2
丸森町	15,501	0	0	0	0	0	1	0	1	38	513	0	0	22
巨理町	34,845	246	18	264	8	2	43	0	2,568	1,205	2,448	0	285	387
山元町	16,704	681	17	698	18	9	81	不明	2,217	1,085	1,138	不明	31	339
松島町	15,085	2	5	7	0	3	34	0	221	1,591	1,557	192	91	125
七ヶ浜町	20,416	70	3	73	4	調査中	調査中	調査中	675	648	2,598	調査中	調査中	625
利府町	33,994	3	0	3	0	4	0	0	56	900	3,546	45	14	165
大和町	24,894	0	1	1	0	0	7	0	42	268	2,780	0	0	調査中
大郷町	8,927	1	0	1	0	1	4	1	50	274	781	0	0	203
富谷町	47,042	0	0	0	0	2	30	0	16	537	5,297	0	0	0
大衡村	5,334	0	0	0	0	0	4	0	0	19	764	0	0	0
色麻町	7,431	0	0	0	0	0	9	0	0	15	215	0	0	18
加美町	25,527	0	0	0	0	0	33	0	8	35	749	0	0	22
涌谷町	17,494	1	0	1	2	3	20	24	144	734	1,021	0	0	543
美里町	25,190	0	1	1	0	19	48	0	129	627	3,130	0	0	1,705
女川町	10,051	580	22	602	268	不明	不明	不明	2,924	347	663	調査中	調査中	1,590
南三陸町	17,429	594	20	614	226	不明	不明	不明	3,143	177	1,205	不明	不明	234
計	2,348,165	9,566	843	10,409	1,310	504	3,611	29	85,414	152,527	224,180	14,678	12,894	26,296

※1 上記には、平成23年4月7日・7月25日・7月31日・8月19日・10月10日・平成24年8月30日・12月7日の余震の被害を含んでいます。

※2 ライフラインは、平成23年12月11日をもちましてすべて復旧いたしました。(津波で流出した地域を除く)

※3 避難所は、平成23年12月30日をもちまして県内避難所はすべて閉鎖されました。

※4 死者について

・直接死とは：津波や家屋倒壊などが原因で死亡した[被災市町村で確認された方の合計]となっています。

・間接死とは：直接死以外で、この震災が原因で死亡したと災害弔慰金支給審査会等で認定された方の合計となっています。

宮城県内の被災状況

東日本大震災による被害額(平成25年2月12日現在)

(単位:千円)

項目		金額	概要	
交通関係 (東日本旅客鉄道の被害額は含まれていない)	鉄道 8,595,043 (東日本旅客鉄道の被害額は含まれていない)	阿武隈急行	386,980	
		仙台臨海鉄道	1,745,000	
		仙台市営地下鉄	1,250,000	
		東日本旅客鉄道	-	全体で678億円(別別の金額は公表していない)
		日本貨物鉄道	5,213,063	
	バス		1,318,000	仙台市営バス、宮城交通等
	離島航路	410,161	塩竈市営汽船	25,151
	大島汽船		327,700	
	網地島ライン		27,310	
	シーパル女川汽船		30,000	
ライフライン施設 166,780,019	水道	上水道	30,702,210	水道、水道用水供給事業施設
		工業用水道	350,409	
	電気		51,000,000	
	都市ガス		27,550,000	
保健医療・福祉関係施設 50,953,367	医療機関等		33,412,340	
	民間等社会福祉施設		16,791,221	
	その他県有施設等		749,806	県立社会福祉施設、宮城県立病院機構等
建築物(住宅関係)			5,127,407,000	
民間施設等 991,190,000	工業関係		590,000,000	建物・機械・設備備品等
	商業関係		145,000,000	建物・商品等
	自動車・船舶(漁船を除く)		256,190,000	
農林水産業関係 1,295,225,545	農業関係		545,396,810	農地、農業施設、農作物等
	畜産関係		5,009,460	畜舎、畜産、畜産品等
	林業関係		55,117,016	林道、林地、治山施設、林産物等
	水産業関係		680,382,645	水産施設、漁港、漁船、水産物等
	その他(県所管施設)		9,319,614	船舶、水産技術総合センター等
公共土木施設(仙台市含む)・ 交通基盤施設 1,260,559,000	高速道路	NEXCO東日本所管分	12,000,000	東北自動車道、仙台東部道路 仙台北部道路、常磐自動車道
		宮城県道路公社所管分	420,000	仙台南部道路、仙台松島道路
	国直轄分		145,696,000	
	道路(橋梁を含む)		245,793,000	
	河川(ダムを含む)		251,967,000	
	海岸		82,088,000	
	港湾		108,797,000	
	下水道		371,690,000	
	その他公共土木施設等(空港、所管施設を含む)		42,108,000	砂防、公園等
文教施設 202,567,280	県立学校		27,126,612	
	市町村立学校		53,798,793	
	私立学校		11,409,888	
	国立学校施設		69,000,000	
	私立大学		3,755,830	
	その他文教施設		37,476,157	社会教育施設、文化財施設、研究施設、宮城大学等
廃棄物処理・し尿処理施設			6,917,259	
その他の公共施設等 77,135,065	観光施設		21,600,000	
	消防関係施設等		16,428,000	
	警察関係施設等		10,048,809	
	その他		29,058,256	庁舎、県施設等
合計			9,189,057,739	(東日本旅客鉄道の被害額は含まれていない)

地震及び津波の概要

【地震(本震)】

地震名	平成23年(2011年) 東北地方太平洋沖地震
発生日時	平成23年3月11日(金) 14時46分
発生場所	宮城県三陸沖(北緯38度06.2分、東経142度51.6分)
震源の深さ	24km
震度	山元町 震度6強
規模	M9.0
県内の震度	
震度7	栗原市
震度6強	石巻市、登米市、大崎市、川崎町、仙台宮城野区、名取市、美里町、東松島市、塩竈市、涌谷町、大衡村、蔵王町
震度6弱	岩沼市、気仙沼市、角田市、仙台市若林区、仙台市泉区、仙台市青葉区、松島町、白石市、利府町、大郷町、南三陸町、富谷町、亶理町、大和町
震度5強	加美町、色麻町、村田町、柴田町、丸森町、仙台市太白区、七ヶ浜町、多賀城市、七ヶ宿町

【津波の状況】

3月11日	14:46	地震発生
	14:49	太平洋沿岸に大津波警報発表
	15:50頃	大津波来襲
3月12日	20:20	大津波警報から津波警報へ切り替え
3月13日	7:30	津波警報から津波注意報へ切り替え
	17:58	津波警報を解除

【余震の状況】

発生日時	平成23年4月7日(木) 23:32
発生場所	宮城県沖(北緯38度12.2分、東経141度55.2分)
震源の深さ	66km
震度	山元町 震度5強
規模	M7.2
県内の震度	
震度6強	栗原市、仙台市宮城野区
震度6弱	涌谷町、登米市、美里町、大崎市、名取市、岩沼市、川崎町、仙台市青葉区、若林区、塩竈市、東松島市、松島町、利府町、大衡村
震度5強	気仙沼市、加美町、色麻町、南三陸町、大河原町、柴田町、亶理町、七ヶ浜町、大和町、富谷町
震度5弱	白石市、角田市、村田町、丸森町、仙台市太白区
震度4	七ヶ宿町
津波の状況	4月7日 23:34 津波警報発表
	4月8日 0:55 津波警報・注意報解除

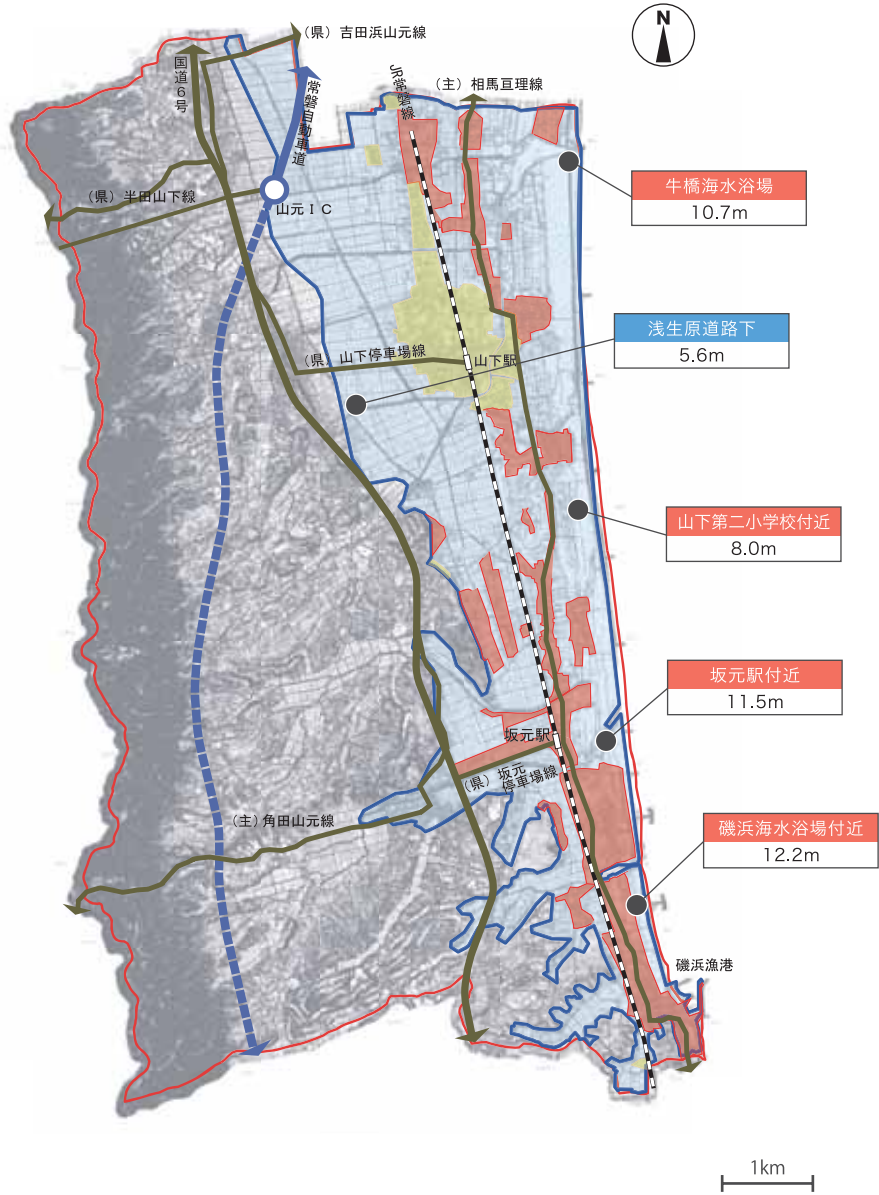
【避難指示】


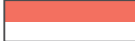



年月日	世帯数	避難指示区域
H23.3.11	2,494世帯	牛橋区・花釜区・笠野区・新浜区・中浜区・磯区の全域、山下区・高瀬区・合戦原区・町区の一部
H23.3.25	8世帯	浅生原区の太陽ニュータウンの一部
H23.7.11	5世帯	浅生原区の太陽ニュータウンの一部

【避難指示解除】

年月日	世帯数	避難指示解除区域
H23.7.1	1,074世帯	牛橋区の一部、花釜区の一部 (山寺字谷地、大平、平沼、小谷地、西牛橋の一部、小平、北泥沼の一部、下花、大力、泥沼の一部、堀込、道下、北坪路、雁田、雁小屋、新田、高地、東坪路、西頭無、頭無の一部で常磐線より西側部分、高瀬字下津土の一部、西北谷地の一部で常磐線より西側部分)
H23.9.1	687世帯	牛橋区、花釜区、笠野区、浅生原区及び高瀬区の一部(山寺字須賀、浜野、新浜野、牛橋、東泥沼、矢来、矢来山、東畑合、川東畑合、畑合、浜、川東、白川、花笠、浅生原字砂押、下新井田、高瀬字西北谷地、下津土、北沼、中北耕土、中津土の全部、山寺字西牛橋、北泥沼、泥沼、北頭無、頭無、高瀬字花笠、浜砂、西須賀、天王川、松田、北、南、紅葉、梅田の一部)
H23.11.7	733世帯	H23.3.11 避難指示(2,494世帯)は、H23.11.7をもって全区域解除
H25.2.1	13世帯	H23.3.25及びH23.7.11 避難指示(13世帯)は、H25.2.1をもって解除

浸水エリア等分布図



- | | | | |
|---|-----------|---|---------|
|  | : 浸水エリア |  | : 津波浸水高 |
|  | : 家屋半壊エリア |  | : 津波遡上高 |
|  | : 家屋全壊エリア | | |

※津波浸水高及び遡上高は国土地理院のデータによるもの

※H23.5現在航空写真の目視による
 ※図中の全壊・半壊エリアは、り災証明の全壊・半壊と関連しない。

山元町被害概要（平成25.1.31現在）

山元町民の人的被害数

死者	633人（遺体未発見の死亡届16人及び震災関連死17人を含む）
行方不明者	1人（遺体未発見の死亡届16人を除く）
重傷者	9人（救急搬送分）
軽傷者	81人（救急搬送分）

家屋の被害

全壊	2,217棟（うち流出1,013棟）
大規模半壊	534棟
半壊	551棟
一部損壊	1,138棟

火災数

なし（0件）

津波浸水区域

浸水範囲面積	2.4km ² （総面積64.48km ² の37.2%）
推定浸水域にかかる人口	8,990人（平成23年2月末現在人口の53.8%）
推定浸水域にかかる世帯	2,913世帯（平成23年2月末現在世帯数の52.4%）

津波浸水区域（避難指示区域）の状況

海岸沿いの6行政区全域及び丘通り4行政区の一部（2,494世帯、7,543人の区域）が津波により水没
 海岸線～1kmの範囲 建物は新築の建物及び基礎が一部残る程度でほとんどが流出
 海岸線1km～1.5kmの範囲 新築の建物等が残存する程度で、概ね流出
 海岸線1.5km～国道6号の範囲 建物の床上2m程度水没

犠牲者の仮埋葬

仮埋葬遺体数：154体

震災により火葬予定者数が巨理葬祭場の許容量を超えたため、寺嶋葬祭第二会館内及び同館敷地内にプレハブ倉庫を設置しご遺体が仮安置されたが、ご遺体を保存しておくことが困難となったため、明光院萬福寺墓地（真庭区）に一時的に土葬（仮埋葬）し、一定の期間をおいてから火葬がおこなわれた。

仮埋葬後の火葬については、他自治体の葬祭場も借用し、ご遺体を搬送して火葬が行なわれた。

- ・仙南地域広域行政事務組合（あぶくま斎苑：42名、白石斎苑：26名）
- ・仙台市（葛岡斎場：37名）



ライフラインの被災・復旧状況

電気

- H23.3.11 全域 6,098 戸 (停電)
 H23.3.22 浸水区以外 (国道6号線西側) については概ね復旧
 ※浸水区については変電所や各電柱が被害を受けており、復旧の見通し立たず。
 ※国道6号東側津波浸水地域の一部通電 (牛橋地区 JR より西側)

上水道

- H23.3.11 町内全域断水 5,706 水栓 (復旧可能水栓 3,360・浸水のため復旧不可能水栓 2,346)
 H23.4.5 町内約 2,760 水栓が復旧 (復旧可能水栓の 89% が復旧・町内全域の 48% が復旧)
 H23.4.7 午後 11:32 頃発生 (震度 5 強・M7.2) の地震により、仙南仙塩広域水道の送水が再び停止
 H23.4.11 町内約 2,300 水栓が復旧 (復旧可能水栓の 74% が復旧・町内全域の 41% が復旧)
 H23.4.28 町内 4,065 水栓が復旧 (復旧可能水栓の 100% が復旧・町内全域の 75% が復旧)

下水道

- H23.3.11 マンホールから直接汚泥抜き取り処分 (県内外業者の支援)
 下水道処理施設は機能停止、管渠破損状況調査
 H23.3.28 下水道管被害調査及び復旧工事着手、山元浄化センター等調査
 ※山元浄化センター等の終末処理場復旧は、約 1 年程度の時間を要する見込み。

電話

- H23.3.11 地震発生直後から町内全域で不通
 H23.3.22 山下地区 (一部復旧) 坂元地区 (一部復旧)
 H23.6.22 山元町一円で復旧

衛星電話

- H23.3.15 本部用 1 台
 H23.3.18 避難者用 6 台 (NTTdocomo 提供)

携帯電話

- H23.3.19 避難者用 5 台 (NTTdocomo 提供)
 H23.3.22 災害対策本部用 20 台 (宮城県提供)
 H23.3.24 災害対策本部用 20 台 (宮城県提供)、ラジオ (住民用 50 台 長岡市提供)
 H23.3.28 避難者用 3 台 (NTTdocomo 提供)
 H23.4.12 避難者用 50 台 (SoftBank 提供)

町内巡回バス (ぐるりん号)

- H23.4.2 災害応急路線を定め、暫定運行

都市基盤の被災・復旧状況

平成 23 年度現在

	被害箇所	被害延長	被害額
河川	4 河川	298.6m	62,373,000 円
橋梁	2 箇所	27.3m	5,881,000 円
道路	245 路線	55637.6m	1,792,477,000 円
計	251 箇所	55963.5m	1,860,731,000 円

道路

(主) 相馬亙理線を中心とする、沿岸部の骨格をなす主要道路が破壊・寸断された。

国道6号線	H23.3.14～	通行可能
県道相馬亙理線	H23.3.15～	亙理町～磯地区まで通行可(全線災害復旧車両のみ)
県道山下停車場線	H23.3.16～	通行可能
町道東街道線	H23.3.11～	通行可能
町道山下花釜線	H23.3.13～	通行可能
町道鷺足花釜線	H23.3.13～	通行可能
町道大平牛橋線	H23.3.13～	通行可能
農免農道	H23.3.16～	通行可能(一部災害復旧車両のみ)

※浸水地域については、一般車両の通行を規制している。

鉄道

山下駅以南、県境まで津波により線路は流失。このため、町内2ヶ所ある山下駅、坂元駅は、車両乗り入れが不可能で、運行システムや鉄道サービスの復旧の目処が立たないことから壊滅的状况にある。

学校等

沿岸部には、中浜小学校と山下第二小学校の2校が立地。

中浜小学校は2階建て校舎の2階天井付近まで浸水。また、山下第二小学校は2階建て校舎の1階天井付近まで浸水し2校共に全壊または半壊状態。

山下駅周辺に町立東保育所と私立幼稚園が立地していたが、どちらも全壊または半壊状態。

防風林・防潮林

防風林・防潮林として機能していた沿岸部の保安林は、津波により全てが流失した。現在、仮堤防を設置。

役場庁舎・公共施設等

公共施設や沿岸部以外の学校等は国道6号側に集積していたことから津波による被害は軽微であった。

役場庁舎は地震による被害が甚大であり、現在、仮庁舎にて業務を行なっている。

産業基盤の被災状況

農業

本町の主要特産物であるイチゴ栽培施設は9割以上が壊滅状態。また、米作に関しても、沿岸部から国道6号まで農地が浸水。これは、町全体の農用地面積(水田)の約7割となる。

山元町農地冠水面積及び復旧状況一覧(H24.6.1現在)

【農地冠水面積】 (単位:ha)

地目	全面積	冠水面積 (H23.6.1)	被害率
水田	1430	986	69%
畑	960	430	45%
合計	2390	1416	59%

【農地復旧計画】

(単位:ha)

地目	被災面積	H23復旧面積	H24復旧面積	H25復旧面積	総復旧面積
水田	986	230	582	124	936
畑	430	2	133	276	411
合計	1416	232	715	400	1347

【未復旧農地面積】(単位:ha)

地目	H25時点
水田	50
畑	19
合計	69

漁業（磯浜漁港）

本町唯一の漁港であったが、漁港へのアクセス道の寸断、防波堤の決壊、隣接する海浜公園も壊滅的な状況。

水産施設及び漁具の被災状況及び復旧状況

【被災した施設】

種別	区分	単位	保有数
事務所	棟	箇所	1
荷捌き所	棟	箇所	1
漁具	漁船	隻	33
	定置網	ヶ統	10ヶ統分
	さし網	反	9990
	貝ケタ	台	50
	その他		340

【施設の復旧状況】

(H24末現在)

種別	区分	単位	保有数
事務所	棟	箇所	1
漁具	漁船	隻	7
	定置網	ヶ統	2ヶ統分
	さし網	反	600
	貝ケタ	台	4
	その他		2 (船外機)

商業

沿岸部においてまとまった店舗を有していた花釜地区の山下駅周辺は、住宅も含め全壊・半壊状態。

商業被災・復旧状況

【被災前】

区分	状況	単位	津波被災地区								其他地区	計
			牛橋	東花釜	西花釜	笠野	新浜	中浜	磯	小計		
商店		件	4	7	8	1	1	5	2	28	73	101
事業所		件	3	5	5	3	1	6	5	28	41	69
計		件	7	12	13	4	2	11	7	56	114	170

【被災した施設】

区分	状況	単位	津波被災地区								其他地区	計
			牛橋	東花釜	西花釜	笠野	新浜	中浜	磯	小計		
商店	休業	件	0	0	1	1	1	0	0	3	3	6
	営業中止	件	4	6	7	0	0	5	2	24	9	33
	計	件	4	6	8	1	1	5	2	27	12	39
事業所	全壊	件	3	5	5	3	1	6	5	28	3	31
	半壊	件	調査中	調査中	調査中	調査中	調査中	調査中	調査中	調査中	調査中	調査中
	計	件	3	5	5	3	1	6	5	28	3	31
計		件	7	11	13	4	2	11	7	55	15	70

【復旧状況】

(H23末現在)

区分	状況	単位	津波被災地区								其他地区	計
			牛橋	東花釜	西花釜	笠野	新浜	中浜	磯	小計		
商店	現地再開	件	0	0	2	0	0	0	0	2	4	6
	移転再開	件	1	3	1	0	0	0	0	5	3	8
	休業	件	0	0	1	1	1	0	0	3	3	6
	廃業	件	3	3	4	0	0	5	2	17	2	19
	町外移転	件	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	件	4	6	8	1	1	5	2	27	12	39
事業所	現地再開	件	0	0	1	1	0	0	0	2	1	3
	移転再開	件	0	2	2	2	0	2	4	12	1	13
	休業	件	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1
	廃業	件	2	1	2	0	0	2	0	7	0	7
	町外移転	件	1	2	0	0	1	1	1	6	1	7
	計	件	3	5	5	3	1	6	5	28	3	31
計		件	7	11	13	4	2	11	7	55	15	70

工業

本町の製造・加工系の工場は丘陵部側に集積していたものの、沿岸部花釜地区の山下駅周辺や牛橋地区、中浜地区坂元駅周辺に立地した食品加工関連や金属製造関係等の工場が全壊・半壊状態。

工業被災・復旧状況

【被災前】

区分	状況	単位	津波被災地区								其他地区	計
			牛橋	東花釜	西花釜	笠野	新浜	中浜	磯	小計		
事業所		件	7	9	2	1	3	9	3	34	76	110
計		件	7	9	2	1	3	9	3	34	76	110

【被災した施設】

区分	状況	単位	津波被災地区								其他地区	計	
			牛橋	東花釜	西花釜	笠野	新浜	中浜	磯	小計			
事業所	休業	件	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	営業中止	件	7	9	2	1	3	7	3	32	7	39	
計		件	7	9	2	1	3	7	3	32	7	39	

【復旧状況】

(H23未現在)

区分	状況	単位	津波被災地区								其他地区	計	
			牛橋	東花釜	西花釜	笠野	新浜	中浜	磯	小計			
事業所	現地再開	件	4	1	2	0	0	0	0	0	7	4	11
	移転再開	件	3	7	0	0	2	6	1	19	3	22	
	休業	件	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	廃業	件	0	0	0	1	1	1	1	4	0	4	
	町外移転	件	0	1	0	0	0	0	1	2	0	2	
計		件	7	9	2	1	3	7	3	32	7	39	

り災証明書発行状況 (H25.1.31現在)

〔東日本大震災に係る山元町り災証明書追加交付申請件数及び発行枚数〕

発生日	追加交付件数	発行枚数	累積交付枚数	累積発行枚数
2011年4月	463	982	463	982
2011年5月	847	1,594	1,310	2,576
2011年6月	1,675	4,398	2,985	6,974
2011年7月	670	1,562	3,655	8,536
2011年8月	343	707	3,998	9,243
2011年9月	248	491	4,246	9,734
2011年10月	142	293	4,388	10,027
2011年11月	279	575	4,667	10,602
2011年12月	135	284	4,802	10,886
2012年1月	95	203	4,897	11,089
2012年2月	95	181	4,992	11,270
2012年3月	116	189	5,108	11,459
2012年4月	52	93	5,160	11,552
2012年5月	84	157	5,244	11,709
2012年6月	54	87	5,298	11,796
2012年7月	47	84	5,345	11,880
2012年8月	42	69	5,387	11,949
2012年9月	42	71	5,249	12,020
2012年10月	45	66	5,474	12,086
2012年11月	40	74	5,514	12,160
2012年12月	50	100	5,564	12,260
2013年1月	41	77	5,605	12,337

り災証明書発行件数(件)	4,576
累積発行枚数	12,337
り災証明書発行件数(枚)	16,913

がれき撤去等の状況

〔レッカー車両・LPGボンベ回収状況〕

種類	延べ数
自動車のレッカー移動※平成23年12月31日現在	1,805台
LPGボンベ回収※平成23年4月27日時点回収量	1,180個

〔がれきの除去作業〕

区分	期間	延べ数
作業重機(バックホー、ダンプ等)	平成23年3月12日～9月30日	22,808台
作業員	平成23年3月12日～9月30日	24,826人

避難所・応急仮設住宅の状況

一次避難所の状況 [平成23年8月16日閉鎖]

施設名	避難者数(H23年3月13日現在)	避難者数(H23年5月31日現在)
中央公民館	1,500人	334人
山下第一小学校	351人	89人
山下中学校	400人	204人
坂元支所	200人	55人
真庭区民会館	150人	29人
その他	1,245人	—
合計	3,846人	711人

※避難所状況の集計ができたのは、災害発生3日目の平23.3.13(日)時点で避難所数18カ所、避難人数3,846人

※避難所数及び避難人数のピークは、災害発生4日目の平23.3.14(月)時点で避難所数19カ所、避難人数5,826人

二次避難所の状況 [平成23年10月1日閉鎖]

施設名	避難者数(H23年5月31日現在)
柴田町(太陽の村)	63人
角田市(婦人研修センター)	32人
蔵王町(宮城蔵王ロイヤルホテル)	31人
角田市(農村環境改善センター)	21人
蔵王町(さんさ亭)	11人
合計	158人

※二次避難所の始期は、4月3日(日)に「太陽の村」73人と「婦人研修センター」31人
 ※二次避難所数及び避難人数のピークは、5月18日(水)時点で避難所数5カ所、避難人数182人

【応急仮設住宅の入居状況】

平成25年1月31日現在 | 完成戸数1,030戸 | 入居戸数:918戸 | 入居者数:2,372人 |

団地数	建設地	完成戸数	入居戸数	入居者数	入居開始日
1	旧坂元中学校跡地 〒989-2111 山元町坂元字大山5番地	78戸	75戸	232人	平成23年4月30日
2	町民グラウンド 〒989-2202 山元町高瀬字合戦原100番地1	141戸	137戸	403人	平成23年5月19日
3	(株)ナガワ仙台工場内 〒989-2207 山元町八手庭字北向12-1	130戸	106戸	260人	平成23年6月6日
4	高瀬西石山原地区 〒989-2202 山元町高瀬字西石山原51番地2	82戸	66戸	171人	平成23年6月1日
5	浅生原内手地区 〒989-2203 山元町浅生原字内手70	106戸	92戸	296人	平成23年5月27日
6	浅生原箱根地区 〒989-2203 山元町浅生原字箱根23-1	63戸	54戸	143人	平成23年6月3日
7	浅生原東田地区① 〒989-2203 山元町浅生原字東田66-1	30戸	27戸	75人	平成23年6月18日
8	町民グラウンド北 〒989-2202 山元町高瀬字合戦原100番地1	38戸	33戸	69人	平成23年6月20日
9	浅生原東田② 〒989-2203 山元町浅生原字東田66-1	159戸	147戸	331人	平成23年7月25日
10	中山熊野堂 〒989-2111 山元町坂元字熊野堂10-2	125戸	114戸	247人	平成23年7月20日
11	浅生原東田③ 〒989-2203 山元町浅生原字東田66-1	78戸	67戸	145人	平成23年8月12日

自衛隊・救急隊等

山元町消防団

平成23年3月11日～5月31日 延べ人数：5,145人

自衛隊

10特、14普、49普、施設、高射、10後支(衛生)、東北方面特科隊、第2施設団、第10後方支援連隊等
平成23年3月11日～8月1日 延べ人数：116,209人

緊急消防援助隊

亘理消防隊、愛知県隊、兵庫県隊、奈良県隊、福岡県隊、仙南広域隊
平成23年3月12日～4月26日 延べ人数：6,170人

災害ボランティア

災害ボランティアセンター〔山元町社会福祉協議会〕

平成23年3月12日設置(平成23年12月～金土曜活動) 延べ人数(平成24年12月17日現在)：31,215人

山元町職員OB会

平成23年4月1日～(安否確認業務) 延べ人数(平成24年12月17日現在)：162人

宮城県退職校長会

平成23年4月11日～平成23年7月31日～(学校運営) 延べ人数(平成24年12月17日現在)：263人

国・都道府県・市町村等派遣 (平成24年度現在)

東北農政局 東北財務局 関東財務局

北海道 宮城県 東京都 千葉県 愛媛県 宮崎県
宮城県教育委員会 群馬県教育委員会 東京都教育委員会 愛媛県教育委員会 宮崎県教育委員会

[北海道] 札幌市 石狩市 恵庭市 芦別市 伊達市 芽室町 美幌町 新冠町 余市町 遠軽町

[宮城県] 仙台市 白石市 角田市 柴田町 川崎町 利府町 村田町 蔵王町 丸森町 大河原町 七ヶ宿町
仙台二華高校 白石工業高校

[新潟県] 上越市

[埼玉県] 本庄市 松伏町

[千葉県] 館山市 君津市 白子町 睦沢町 長南町

[東京都] 新宿区 日の出町 品川区選挙管理委員会 大田区選挙管理委員会

[神奈川県] 横浜市 鎌倉市

[長野県] 朝日村

[静岡県] 静岡市 掛川市 焼津市 沼津市 熱海市 伊東市 三島市 御殿場市 長泉町

[岐阜県] 大垣市 郡上市

[愛知県] 岡崎市 豊田市 半田市 みよし市

[三重県] 津市

[京都府] 京都市

[兵庫県] 加古川市 朝来市 多可町 佐用町 新温泉町 香美町

[広島県] 広島市 江田島市

[山口県] 山陽小野田市

[愛媛県] 松山市 今治市 西条市 八幡浜市 四国中央市 伊予市 上島町

[福岡県] 福岡市 行橋市

[宮崎県] 宮崎市 都城市 日向市 小林市 日之影町 都農町 高原町

[その他団体等] 苫小牧港管理組合 独立行政法人都市再生機構 日本プライマリ・ケア連合学会 PCAT

医療救護関係

団体等	延べ人数
町医 (H23.3.11～5.7)	42人
独立行政法人国立病院機構派遣医師団 医師2人、看護師2人、事務職1人 避難所巡回 (H23.3.18～5.9)、救護所常駐 (H23.3.20～5.9)	290人
自衛隊医療派遣医師団 診療所常設 (H23.3.18～5.15)、避難所巡回相談 H23.3.14～5.23)	—
宮城県心のケアチーム 医師1人、保健師1人、看護師1人、精神保健福祉士1人、薬剤師1人 避難所巡回 (H23.3.18～6.10)	255人
県・市町村保健医師等 宮城県派遣保健師 (H23.3.14～)、宮城県派遣栄養士等 (H.23.4.5～) 仙南市町村保健師 (H23.3.14～5.31 角田市、七ヶ宿、大河原町、川崎町)	300人
福井県保健師・薬剤師 H23.3.17～3.20 (2人) 3.21～29 (4人) 3.30～7.3 (5人薬剤師含む) 7.4～9.1 (2人)	646人
日本看護協会 看護師4人 (H23.3.22～3.28)	28人
東北関東大震災共同ネットワーク (H23.3.28～6.30)	318人
宮城県歯科医師会 (H23.3.30～5.10)	51人
県外歯科医師会他 (H23.4.3～4.26)	48人
眼科医 (H23.4.9～5.9)	3人
東北大学 (H23.4.6～8.29)	105人
宮城県栄養士会派遣管理栄養士 (H23.4.6～10.30)	123人
医療法人東北会 東北会病院	69人
山梨県保健師 (H23.8.8～8.12)	20人

災害廃棄物処理 [山元処理区(巨理名取ブロック)]

自区内処理計画

- 自区内処理を優先としながら、焼却灰への放射性物質の濃縮の可能性を考慮し焼却量を削減、リサイクル率を高める。
- 木くずは木質チップ後に場内洗浄することで、放射性物質の影響のない安全なリサイクルを行なう。

〈災害廃棄物処理数量〉

(千トン)

種別	細別	発生量	自区内 リサイクル	自区内 焼却	自区内 リサイクル	自区内 焼却
可燃物	木くず	201	7	77	117	0
不燃物	粗大・混合ゴミ(可燃)	3	0	3	3	0
	コンクリートくず	85	81	0	0	4
	アスファルトくず	9	0	0	0	0
	金属くず	0	0	0	0	0
	粗大・混合ゴミ(不燃)	209	21	0	0	188
計		507	109	80	126	192
割合		100%	21%	16%	25%	38%
			37%		63%	
リサイクル割合		100%	46%			
津波堆積物		410	410	0	0	0
計		410	410	0	0	0
割合		100%	100%		0%	

中間処理・再利用・再生利用

- 廃棄物の種類に応じてそれぞれ高い処理能力を持つ機械を導入し、高効率で安定的な破碎と選別を実施する。
- 木材チップは、自区内では宮城野ゴルフクラブや山元トレーニングセンターでの活用、イチゴ農家の堆肥材料としてリサイクルする。
- 水洗いが可能な比重選別機により、土砂・塩分・放射能を分離する。
- 津波堆積物の処理については、環境省の処理指針に従い土壌汚染調査を行なったうえ、判定により不溶化処理等を行なう。
- 処理後の土砂については、復興まちづくりにおける盛土の一部とするため、町内民有地(12ha)を仮置場として確保する。

安定処理(焼却処理)

- リサイクル率を高めることにより、焼却量を削減。
- ゴミ質に最適な焼却炉を選定。 ・キルン炉(200t/日×1炉) ・ストーカ炉(100t/日×1炉)

地元雇用

- 粗大・混合ゴミ、津波堆積物の手選別作業員等の人員については、被災者を中心として地元から150名を雇用する。

作業内容	雇用数
粗大・混合ゴミ 手選別作業員	90名
津波堆積物 手選別作業員	21名
造成・小運搬	17名
炉維持管理補助員	6名
計量管理補助員	6名
誘導員	10名
合 計	150名